

NO	テーマ	意見・要望	担当課	回答
1	FM計画	南小学校の利活用について、地元での管理・運営は難しいが、立地条件も良いので解体して草が生えているような状態には絶対にしてほしくない。	財産経営課	建物、土地について、周囲の景観を損ねないよう管理してまいります。今後空き校舎及び跡地については、一般公募による貸し出しや譲渡を検討してまいります。
2	FM計画	来年、黒川小学校が統合されるが、学校用地として貸している土地がある。それらはどうなるのか。	教育総務課	閉校後の校舎の利活用とも関係することから、学校敷地全体の在り方を校舎の利活用と併せて検討してまいります。
3	FM計画	横手図書館は駐車場がなく利用しづらい。施設の整備にあたっては、人が集まるような利用しやすい場所を考慮してほしい。	図書館課	施設整備にあたっては、市民が利用しやすい場所についても考慮し検討いたします。
4	FM計画	大鳥公園は国指定の史跡で平泉との関係も見えてきた。旧鳳中学校を文化財保護の観点から活用できないか。市には資料展示する場所が少ないと感じる。	文化財保護課	市民はじめ観光客からも展示案内施設設置の要望は多数あります。全国的には国史跡近くに施設が整備されており、後三年合戦関連の展示が少ないことから、国史跡に隣接する旧鳳中学校を活用して整備するなど要望についてはいろいろな角度から検討させていただきます。
5	公共施設	福地公民館新設の陳情があることを知っているか。福地公民館は建物の老朽化もさることながら駐車場も少なく、新設の要望は現実的に可能か。	生涯学習課 地域づくり支援課	福地公民館はS51年の建設であります。FM計画としては長寿(H27,10時点)で検討されております。 新設については、将来的には地域の動向なども勘案しながら 雄物川地域公民館の在り方も含めて検討してまいります。
		福地公民館が手狭なため、公民館の活動の場として、福地小学校体育館を払下げして使わせてもらえないか。地域から要望が出た場合は、後押ししてほしい。		
		福地地区は2年間に渡って学校跡地利活用の検討をした。現在の公民館は狭いので、いろいろ不便をきたすこともある。地域づくり協議会を通して市に要望書を提出している。福地には1,500人ほど生活している。公民館がこれほど狭いと何をやるにしても不便である。福地小学校の体育館は耐用年数も十分ある。芸術・文化・スポーツで使えるだろう。小学校の体育館を利用させていただき、事務室・研修室を作ってもらいたいということで要望書を提出している。要望が持ち上がっていったら、後押しをお願いしたい。	財産経営課	旧福地小学校校舎等の利活用については、まちづくり推進部で作成する公民館を含めたまちづくり計画とFM計画との調整により検討してまいります。
6	公共施設	交流施設の見通しは？また、国道から隣接する保育所への道が狭い。拡張の話はなかったか？財産区から土地提供の話はなかったか？	横手地域課	・交流施設については、現公民館の老朽化が著しいため、早期の開設を予定している。時期は平成29年度を目途に考えております。 ・隣接市道については、金沢地区からの要望等は特にありませんが、交流施設整備に当たり必要となる場合には、総合的に検討してまいります。

NO	テーマ	意見・要望	担当課	回答
7	公共施設	(新まんが美術館整備により)地域センターが拠点としているふれあいプラザが使えなくなったとき、どうしたらいいのか。使えなくなる前に協議の場を作れないか。	地域づくり支援課	増田ふれあいプラザは、まんが美術館を含む公民館機能や図書館機能を兼ね備えた施設となっていますが、現在の予定で公民館機能を増田地区多目的研修センターに移転する方向で計画しています。同時に地域センターの活動拠点も増田地区多目的研修センターに移転する予定です。
8	公共施設	平鹿の生涯学習センター、雄物川のコミセン、大森のコミセン大ホールの使用料金がまちまちで、合併前の料金体系を引き継いでいるようだ。例えば、大森は1,050円、雄物川8,400円、平鹿5,250円とばらつきがある(昼12時から5時)。5時以降はさらに料金が上がる。10年も経っているのにこういう体制だと不公平である。議会としてどのように考えているか?このままだとだめだと思う。高い施設は使わなければならない。遅い時間になれば8,400円が1.5倍の12,600円になる。あまりにかけ離れているので、市全体で検討してほしい。	生涯学習課 地域局 地域課	市内施設の使用料については様々な条件により各地域で差があるのが現状であります。それぞれの地域局管理の中で別箇の設置条例により定められております。 消費税10%の引き上げ時期に合わせて開館、閉館の設定時間を含めた見直しの統一を関係課、地域局との調整を図りながら検討してまいります。
9	公共施設	山内学習交流センターは、建物に問題があり、議会報告会を体育館で実施することになった。老朽化していくが、この地域にも拠点はどうしても必要なので、長期の目標に議会も理解いただき、財政と相談しながら取り組んでほしい。	生涯学習課 山内地域課	南郷公民館は昭和34年に建築された旧南郷小学校を活用しているもので、FM計画の扱いとしては維持(H27,10時点)で検討されております。 同施設は地区交流センター立ち上げの中で、地区会議等の在り方を含め今後検討してまいります。
10	まちづくり	公民館から交流センターへの移行について、教育委員会から説明があつて以来、これからどうするのかという話が一切出て来ない。話を聞けば担当課の段階で止まっているようだ。先が見えない状態で住民が困っている。対応を望む。 公民館のセンター化についてこれまで説明を受けてきたし、地元でもそのつもりで準備を進めて来た。しかし、全く進んでいないし、市全体を見ても公民館運営が統一されていない。議会でももっと本気を出して取り上げてほしい。	生涯学習課 地域づくり支援課	地域づくり支援課、生涯学習課が同一部内となったことにより、それぞれが所管する、36の地区会議、28の公民館がどのような形であるべきか、試行館(H27.4月現在14公民館)等の状況を検証しながら、将来を見据えた地域拠点の在り方について検討しているところです。 今後、市としての考え方と取り組みを市民に示しながら、それぞれの地域の特性を活かした組織づくりに取り組んでまいります。
11	まちづくり	市政協力委員は相野々駅前地区に3町内会にいて、それを統括している自治会(区)が山内全域に13ある。市の補助事業に、「みんなで支え合う地域づくり活動補助金」として年間10万円上限(3/4補助)の予算がある。それを利用して今年で3年目。自主防災対策として消火器や警報器の設置、訓練を行っているが、100世帯で割ると1世帯あたり1,000円にも満たないため、消火器や警報器が全世帯に行き渡らなかった。雪下ろし用のヘルメットや安全ベルトの配布も予算が足りず十分に取組みなかった。市として、自主防災への取り組みに対する補助をもっとやってほしい。	危機管理課 消防総務課 まちづくり支援課	「みんなで支え合う地域づくり活動補助金」は、地域における共助意識の向上と共助の組織づくりを目的に創設されたもので、基本的には、団体の活動に対する補助となります。各家庭に配布する消耗品(消火器、警報器など)については、本来は家庭の責任において整備するものであり、この補助金の性質とは異なります。各戸への配布を主目的とするならば、補助対象外となります。しかし、地区住民が参加し、防災訓練を実施したり、高齢者世帯の雪下ろし、雪よせを実際に行うことを主目的とし、消耗品等を購入する場合、補助の対象を認めております。 また、ヘルメットや安全ベルトなどの安全に雪下ろしをするための用具については消防署・各分署で貸し出しをしておりますので是非ご利用ください。

NO	テーマ	意見・要望	担当課	回答
12	公共交通	市長の公約に、郡部の交通インフラ整備を進めることが掲げられていた。前市長からデマンド交通として取り組んできているが、それ以上進んでいないし、郡部の交通インフラは先細りだ。どうして市長の公約が進んでいないのか？	地域づくり支援課	デマンド交通は、横手市全域を対象に平成24年度から運行を開始しているが、平成26年度は4万4千人の方々にご利用いただいております。日常生活になくはない交通手段として、市民に浸透してきているものと認識している。既存公共交通との調整を図りながら、更なる利便性の向上に努めたい。
13	公共交通	巡回バスについて、平鹿でやっているが、雄物川ではできないのか？高齢者にとって、将来移動手段がなくなるのは不安。足の確保をぜひ頑張ってください。	地域づくり支援課	公共交通の利用者は年々減少しており、バス路線維持のため市では毎年多額の財政支出を行っています。新たな無料バス運行は困難な状況にあるが、将来にわたって持続可能な公共交通を目指し、地域にとって最適な運行形態の在り方について検討してまいります。
14	公共交通	国道107号の雄川荘に入る三叉路は、由利本荘方面から来る車が見えないため、危険である。信号をつけてもらいたい。市からも要望してもらえないか。	地域づくり支援課	同交差点については前後がカーブとなっており見通しの悪い状況であるほか、国道であることから大型車両の通行量も多い状況であり重大事故の発生の危険性は高いものと考えておりますので、信号機設置について県公安委員会、横手警察署に対して要望してまいります。
15	学校関係	スクールバスについて。登校に50分くらいかかっている。夏季は体力づくりということもあると思うが、冬季のバス利用を要望したい。また、帰りのバスも2時、3時、4時と運行してもらっているが、乗車人数は2、3人のようだ。回数を減らし、待ち時間は宿題をするために教室を開放するなど検討してもらえないか。	学校教育課	<p>冬期のスクールバス運行につきましては、道路及び地域の実情、状況の変化などをみながら必要に応じて検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>スクールバスの運行状況についてですが、登校は各校の始業及び登校完了時間に合わせて運行しております。下校については、小学校が一斉下校のほか終業時間に合せて1便目が低学年、2便目が高学年という形で運行する場合があります。また、中学校は、所属する部活動により下校時間が違うため、これに対応した形で2～3便運行しておりますので、乗車人数が少ない場合もあります。</p> <p>いずれ出発時間まで間がある場合は教室等で学びの時間を設けている学校もありますので、引き続き円滑なスクールバス運行に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
16	学校関係	雪害に関する会議を今日開いたが、雄物川町に除排雪の大きな問題はないが、雄物川小学校の冬の通学が課題。小学校を中心に円を描いて何キロ以内は歩けとしているが、冬期間、特に深井・南形・大巻から来る道は何もない田んぼの中。冬荒れた時にどうやって歩かせるのか？事故が起こる前に対応してもらいたい。南形・石塚・東槻地区については冬期間スクールバスに乗せられるように強烈に働きかけてほしい。	学校教育課	<p>平成27年4月開校した雄物川小学校のスクールバス運行に係る運行範囲や乗降場所、運行経路などについては、保護者の皆様や学校関係者から様々なご意見をいただき、計画(案)を示しながら最終的に決定されたものです。</p> <p>ご要望の深井・南形・大巻地区の冬期スクールバス運行については、旧福地小PTAからも要望され、昨年度、降雪期における道路や降雪の状況などを確認しました。その結果、民家の無い区間が続くなど降雪期における状況が大変厳しいと判断し、冬期間のスクールバス運行を実施することとしました。石塚地区においても同様な道路等の状況でしたので、同じく冬期間のスクールバス運行を実施いたします。</p> <p>冬期のスクールバス運行につきましては、道路及び地域の実情、状況の変化などをみながら必要に応じて検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願いいたします。</p>

NO	テーマ	意見・要望	担当課	回答
17	その他	先日、くらしの便利帳が配布されたが、印刷業者は山形県の業者だった。なぜ市内業者ではなかったのか。	秘書広報課	平成24年に「くらしの便利帳」を発行する際、横手市の予算を使用せず広告収入のみでの編集・印刷・配布の対応が可能な市内業者が無かったため県外の業者に決定しました。平成26年度に、最新版を発行するにあたり、前回のデータを有し、迅速な発行に向けて広告販売・発行・全戸配布を行うことができる前回と同じ業者に依頼しました。
18	その他	<p>行政やNPO等々、色々なところからの印刷物が各家庭に届く。処理しきれないほどの配布物はどうなのかと考えてしまう。行政で率先してモデルをつくってほしい。市報も月2回ではなく、2か月で3部にするとかできないのだろうか。財源がどんどん減っていく中で、むやみな印刷物が多いと感じている。うちの自治会は回覧板を工夫している。</p> <p>うちの集落は20数軒に街路灯が11あり、夜通し灯りがついている。電気代はただではないはず。財政に関係ないことはないはずだ。何でもやるのが市民サービスだと考えているのかもしれないが、節約できるところは節約してほしい。夜中に街路灯が消えていてもサービスの低下とは考えない。街路灯の電気使用料を検証してみたらどうか？地域の理解は得られると思う。</p> <p>市民は一度受けたサービスを減らせない。わがまま。それを理解してもらう努力も必要と思う。</p>	<p>秘書広報課</p> <p>建設課</p>	<p>市報に折り込む各印刷物の担当である庁内の関係する部署と協議し今後の折り込み配布物の削減について協議していきたいと考えております。市報発行回数については、市民にお知らせしなければならない情報が多く、月2回の発行は必要な状況にあります。ただ、広報先進地は月1回のところも多くあり、貴重な財源を効果的に活用するために発行回数の減少についても検討してまいります。</p> <p>街路灯に関する電力使用の契約は1ヶ月単位で定額の契約になっており使用料や使用時間によって料金が高くなる契約にはなっておりません。また、街路灯については、歩行者の安全確保のみならず不審者を識別することによる防犯の役目を併せ持っておりますので、深夜の消灯はせずに住民の安全を確保したいと考えております。しかしながら経費の節減は当然必要であります。現在市では街路灯のLED化による電力使用量の削減に併せて街路灯の再配置を検討する中で箇所の削減も検討してまいります。</p>
19	空き家対策	私の斜め向かいも空き家。1か月程前、NPOの方が名札をつけて空き家の現地調査をしていた。横手市が許可したのか？個人の家に勝手に入っている。私の町内会(上八王寺)にも9軒空き家がある。勝手にそういうことをされるととても不安。戸を叩いたり足で蹴ったりしていたので、調査員が帰るまで見張っていた。市でそういうことをしていないのだとしたら、きちんと届出をして町内会に知らせてほしい。市で必要であれば、町内会長の同行を求めてやってほしい。	生活環境課	今回の空き家調査については、秋田県企画振興部人口問題対策課がNPO法人秋田移住定住総合支援センターに委託し行っているものでございます。議会報告会の際にその話を伺い、県に対し指導を徹底するよう要望するとともに、市報に空き家調査を行っている旨の記事を掲載したところでございます。今後、当市でも、空き家に関する継続的な調査を予定していることから、調査員の指導を行うとともに、市民に分かりやすい周知方法を検討してまいります。
20	道路事業	山間部の市道(旧県道)で、市の車で除草剤を散布している。大変いいことでありがたいと思うが、笹巻き用の笹を採りに行って、しばらくしてもう一回採りにいったら枯れてしまっていた。除草剤の効果が出るまで1週間程かかる。やめてくれという話ではないが、事前に知らせておいてほしい。道端にわらびが生えているところもある。	建設課 (大森地域課)	道路の除草については人力で草刈りを行ったり、効果が長持ちすることから除草剤散布により除草作業を実施しております。道路脇の植物等に関しては、除草剤以外にも有害物質の付着などの恐れがありますので、利用に関しての注意喚起を行ってまいります。
21	除雪	地域の避難場所として旧松川小学校が指定され備品等は充足されたが、冬期は除雪されていない。道路から小学校まで定期的な除雪をお願いしたい。	危機管理課	避難場所、避難路を積雪期に確保することが難しい地域については、各地区の集落会館等を一時集合場所として設けていただき、市への連絡又は市職員への派遣により避難状況を確認、別の避難場所へ輸送する対策を講じます。

NO	テーマ	意見・要望	担当課	回答
22	区画整理	<p>三枚橋土地区画整理事業で駅西地区の市所有の土地が一坪いくらで売られたかわかるか(一坪59,000円と質問者自ら回答)。その後、ある不動産屋が私のところに60,000円で売ってくれないかと来た。整理事業が始まった当時の話では一坪300,000円になると言われたものだが、今では雑草がたくさんある。この状況をどう思うか。</p>	都市計画課	<p>事業開始当初は、土地価格の上昇が見込まれておりましたが、景気の低迷等により価格が下落しております。</p> <p>現在、横手駅西口の未利用となっている土地は、個人が所有するもの、市が所有するもの、区画整理事業で生み出された保留地などがあります。</p> <p>一部の売却済の保留地では、娯楽施設の建設が始まっておりますが、これをきっかけに他の民有地の利活用が進むことが期待されます。</p> <p>また、市有地については、現在市報やホームページにて公募を実施中です。管理については、これまで同様、年3回程草刈を実施し、維持管理に努めております。今後も個人や事業者の方に対し、購買意欲をかきたてるようなPRにより、早期の売却に努めてまいります。</p>
23	上下水道	<p>醍醐地区の国道の歩道拡幅工事に伴って沿線の住宅改築が行われているが、下水道が整備されていないため接続できない。歩道拡幅工事とあわせて施工するという説明も受けたことがあるが計画変更になったようであり、その説明はなかった。また、下水道接続の補助が今年で終わるという回覧もあった。どうなっているのか。下水道への接続を計画していた住民は困惑している。</p>	下水道課	<p>醍醐地区の下水道工事は、国道拡幅事業の、用地買収が終わったところから下水道工事を進めているため、住宅改築とは時間差が生じます。</p> <p>御質問された方とも直接お会いし、内容を確認したところ、双方に認識の違いがありましたので、改めて説明しご理解を得るとともに、できる限りの対応をすることで了承を得ております。</p>